

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業集落排水施設事業特別会計繰出金										事業コード	510453		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備					
	施 策 名	2 計画的な上下水道施設の整備								施策コード	922			
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課						所属長	蘆田 祐幸					
会計情報	款	06 農林業費		項	01 農業費		目	06 集落排水費		会計	01 一般会計	決算附属資料	186	頁
計画期間	開始年度	昭和61年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	-				R5現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☒ その他 (特別会計への繰出金)													
関連事業	農業集落排水施設事業特別会計各事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	農業集落排水施設事業の健全な運営を図るための農業集落排水施設事業特別会計に対する繰出金。									
対象者					対象者数			単位あたりコスト		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (特別会計への繰出金)									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	農業集落排水施設事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出する。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容					
	繰出金		582,459		農業集落排水施設事業特別会計への繰出金					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	578,374		576,264		0		0						
	② 補正予算	0		6,195		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		578,374		582,459		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	578,374		582,459		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	578,374		582,459										
	③ 執行額	578,374		582,459										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	/						
	② 概算人件費	80		80										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		578,454		582,539										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標		
	【定性的評価のため入力なし】		／		／		／		／				
			／		／		／		／				
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標		
	繰出金決算額		百万円	541.3	／	544.1	578.4	／	578.4	582.5		／	576.3
		単位あたりコスト		－		－		－					
				／		1		／		農業集落排水施設事業特別会計繰出金			
		単位あたりコスト											

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	農業集落排水施設事業の円滑な運営を図るうえで必要である。令和4年度は光熱費高騰対策としての繰出を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	農業集落排水施設事業の円滑な運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	特別会計への繰出金により、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】		
改 善 策	令和4年度の農業集落排水施設事業特別会計の閉鎖(地方公営企業法適用に伴う下水道事業会計への移行)に伴い、同繰出金においても令和4年度中に閉鎖する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	農集排施設の統合に伴い、農集排特別会計はR5.3.31をもって打ち切り決算となった。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☒ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名: _____)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: _____)	

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	上水道事業会計負担金										事業コード	540262				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備							
	施 策 名	2 計画的な上下水道施設の整備								施策コード	922					
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課						所属長	蘆田 祐幸							
会計情報	款	04 衛生費		項	04 上水道費		目	01 上水道施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (企業会計への負担金)															
関連事業	上水道事業会計各事業															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	上水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、上水道事業会計の財政基盤の安定を図る。									
対象者					対象者数			単位あたりコスト		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (企業会計への負担金)									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	上水道事業会計への負担金									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容					
	負担金補助及び交付金		180,865		上水道事業会計への負担金					
	投資及び出資金		219,311		上水道事業会計への出資金					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	360,216		355,189		433,359		442,390						
	② 補正予算	0		45,834		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		360,216		401,023		433,359		442,390						
予算財源内訳	① 一般財源	360,216		401,023		409,559		415,890						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		23,800		26,500						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	360,216		401,023										
	③ 執行額	353,038		400,176										
	④ 執行率	98.0%		99.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	/	/					
	② 概算人件費	80		80										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		353,118		400,256										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	【定性的評価のため入力なし】		/		/		/		/		
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	負担金決算額	百万円	444.7	/ 456.9	353	/ 360.2	400.2	/ 355.1	/ 433.4		
	単位あたりコスト		-		-		-				
			/		3	/	/		/	上水道事業会計負担金	
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図るうえで必要である。 令和4年度は光熱費高騰対策としての繰出を実施した。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	企業会計(上水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】 今後も適正に繰出を実施する必要がある。		
改 善 策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	下水道事業会計負担金										事業コード	540332				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備							
	施 策 名	2 計画的な上下水道施設の整備								施策コード	922					
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課						所属長	蘆田 祐幸							
会計情報	款	04 衛生費		項	03 下水道費		目	01 下水道施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (企業会計への負担金)															
関連事業	下水道事業会計各事業															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	下水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、下水道事業会計の財政基盤の安定を図る。									
対象者					対象者数			単位あたりコスト		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (企業会計への負担金)									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	下水道事業会計への負担金									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容					
	負担金補助及び交付金		958,334		下水道事業会計への負担金					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	940,792		968,324		1,680,524		1,715,136						
	② 補正予算	0		56,202		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		940,792		1,024,526		1,680,524		1,715,136						
予算財源内訳	① 一般財源	940,792		1,024,526		1,680,524		1,715,136						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	940,792		1,024,526										
	③ 執行額	908,311		958,334										
	④ 執行率	96.5%		93.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	/	/					
	② 概算人件費	80		80										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		908,391		958,414										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	【定性的評価のため入力なし】		/		/		/		/					
			/		/		/		/					
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	負担金決算額	百万円	806	/	870.4	908.3	/	940.8	958.3	/	968.3	/	1680.5	
		単位あたりコスト	-		-		-							
			/		5		/		/		/		下水道事業会計負担金	
		単位あたりコスト												

下水道事業会計負担金

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図るうえで必要である。 令和4年度は光熱費高騰対策としての繰出を実施した。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	企業会計(下水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】 今後も適正に繰出を実施する必要がある。		
改 善 策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	(統合事業名:) ☐ 他事業を統合 ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農業集落排水施設事業特別会計							事業コード	540318 ほか					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備							
	施 策 名	2 計画的な上下水道施設の整備						施策コード	922					
事業担当	所属	75010000 上下水道部 経営総務課・下水道課				所属長	間島哲哉・山本英典							
会計情報	款	(複数科目合算)		項	(複数科目合算)		目	(複数科目合算)		会計	12 農集排	決算附属資料	310～314	頁
計画期間	開始年度	昭和54年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名					R5現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	福知山市農業集落排水施設事業特別会計条例、福知山市農業集落排水施設条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	農業用水の水質保全及び農村生活環境の改善に資すること。 なお、総務大臣通知等による令和5年度までに公営企業会計への移行要請があり、令和5年4月に本事業を地方公営企業法を適用した会計に移行する。					
対象者	市民のうち農業集落排水地区内の地域住民		対象者数	7,469	単位あたりコスト	129.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,046,800		1,063,400		0		0			
	② 補正予算	0		6,195		0		0			
	③ 繰越予算	△ 38,090		43,765		0		0			
	前年度繰越	5,675		43,765		0					
	次年度繰越	△ 43,765		0							
小計(①～③)		1,008,710		1,113,360		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	5,959		15,063		0		0			
	④ 地方債	204,800		248,400		0		0			
	⑤ その他特財	797,951		849,897		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	1,008,710		1,113,360							
	③ 執行額	956,453		910,484							
	④ 執行率	94.8%		81.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	6.69	/	0.75	6.54	/	0.75	/			
	② 概算人件費	55,395		54,195							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,011,848		964,679							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	集落排水使用料		種類	集落排水使用料		170,464		306	頁
			集落排水事業債			集落排水事業債		153,700			
			集落排水補助金			集落排水府補助金		10,810			
					実績金額			決算附属資料		308	
										306	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	排水水質基準適合	%	100	/	100	100	/	100	/	100	100
	収納率の向上(現年度)	%	99.29	/	99.67	99.66	/	99.67	/	99.67	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	施設点検管理	日/年	242	/	242	242	/	242	/	243	365日/年
	単位あたりコスト		3611.6		3952.3		3762.3				
	督促状発行件数の減少	件/年	1026	/	957	995	/	947	949	/	937
		単位あたりコスト	851.9		961.3		959.4				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	農業集落排水施設事業は農村地域における農業用水の水質保全、生活環境の改善を図り、安心・安全で快適な市民生活を持続していくために不可欠であり、適正な施設の維持管理と計画的な施設更新を実施した。 また、総務大臣通知による令和5年度までの公営企業会計への移行要請については、令和5年度から地方公営企業法の全部適用をするため、事業移行作業を完了した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	下水道事業への統廃合に向けた取組み(行積長尾処理区の公共下水道への統合)を進めるとともに、補助事業を活用した更新事業を進めた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	成果指標は受益者のニーズに沿っており、排水水質基準が全て適合するには日常の適正な点検管理が必要であり、また、収納率を向上させるには適正な賦課と確実な徴収は不可欠であることから、常時その実践に取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本事業は農村地域における農業用水の水質保全、生活環境の改善に資することを目的としており、安心・安全で快適な市民生活を持続していくために農業集落排水施設の適正な維持管理が不可欠であることから、日常的に適正な点検管理を行い、排水水質基準に適合しているか定期的な検査を行った結果、成果指標を達成できたことは評価できると認識している。また、本事業の継続的な実施において主要な財源となるのは施設の使用料であり、適正な賦課と確実な徴収を行った結果、収入の確保と負担の公平性を担保するうえで成果実績としては評価できる数値であると認識している。 その他、本事業の公営企業会計への移行については、経営状況を見る化し、健全経営を図っていくうえで有用であり、プラス評価とする。 現状の課題としては、農業集落排水区域内における人口減少が加速化するなか使用料収入の増加が見込めない状況であるが、さらなる収納率向上を推進していく必要がある。また、各施設の老朽化は確実に進んできており、補助事業を活用した計画的な更新を行うとともに実施可能なものについては処理区域の統廃合や施設の延命化を推進し、より効率的な事業運営を図っていく必要がある。		
改 善 策	農業集落排水区域内における人口減少が加速化するなか、より効率的な事業運営が求められており、施設の維持管理の適正化はもとより、汚水処理システムの最適化に向けた検討も進めていく予定である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	平成31年1月に発出された総務大臣通知に基づき、地方公営企業法の全部適用に向けて計画的に準備を進め、予定どおり令和5年3月31日をもって打ち切り決算とし、令和5年4月1日より下水道事業へ経営統合した。 事業そのものは継続し、農業用水の水質保全及び農村生活環境の改善のため、農業集落排水施設の適正な維持管理及び各施設の計画的な更新を行なう。また、その財源となる農業集落排水施設使用料の適正な賦課徴収を行なう。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---